

区分	内容	科目	時間数	目 標 及 び 内 容
基礎分野	教育の基盤	教育原理	15	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 1) 教育の本質、目的 2) 教育活動の特性 3) その他
		教育方法	15	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ 1) 授業形態、教育方法及び教材の活用 2) 教授—学習過程の理解 等
		教育心理	15	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ 1) 成長発達に伴う学習者心理の理解 2) 学習過程における心理 等
		教育評価	15	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 1) 教育評価の目的と方法 2) 講義・演習・実習評価の方法 等
専門分野	看護論	看護論	15	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 1) 看護の機能と役割 2) 看護場面と看護観の再構成 3) 健康の概念と健康支援 4) 倫理的課題とその対応方法 等
		看護教育課程論	45	看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる。 1) 教育課程の基本知識 等
	実習指導の基盤	実習指導の原理	9	実習指導の基本と実習指導のあり方等について理解する。 1) 実習の意義 2) 指導者の役割 その他
		実習指導の評価	9	実習における評価の意義や方法を理解する。 1) 実習評価の意義と方法 2) 実習評価の実際 その他
		指導方法（対話促進）	6	現場におけるコミュニケーション技法を学ぶ 1) 具体的な方法と実際
		実習における学生理解と指導者の役割	6	学生の特徴を知りその指導方法を学ぶ 1) 実習現場においての様々な場面を想定し、学生の特性を理解し指導につなげる。
		臨床倫理の考え方と実際	6	倫理的観点からの臨地実習や看護展開のあり方について学ぶ。 1) 現場で遭遇する倫理的場面での実際、 2) 看護の倫理綱領について学ぶ
		メンタルヘルスと教育的支援	6	実習指導者として自己のメンタルヘルスと実習生への効果的な教育的支援を学ぶ。
		実習指導方法・演習 ・指導案作成 ・グループワーク ・グループ発表	66	目標： 1. 実習生を理解するための具体的な方法を知る。 2. 実習生が実習でどんな事を感じ、考えているのかを知る。 3. 実習指導者としての自分の課題を明確にする。 4. 実習について教材観・学習者観・指導観の三観から考察する。 5. 実習指導案の作成ができる。（課程別・学年別・授業科目別） 内容： 実習指導案作成と指導方法（3時間） 課題の共有（3時間） グループワーク・発表会（60時間）
	その他	看護行政と法律	3	看護行政や看護の関連法規について学び、質の高い看護実践につなげる。
看護の現状と課題		3	我が国の少子高齢化における看護の現状を理解し、何が課題なのか視野を広げる。	
プレゼンテーション技法		3	表現に関する知識や基本的な技法・態度を学び、グループ発表会に役立てることができる	
ガイダンス他		15	開講式・閉講式・ガイダンス・オリエンテーション・リフレクション	
	合計	252		